

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第41号 2018年4月10日発行

+++++

小金井ではソメイヨシノはもちろん、枝垂桜さえも、もう今年は葉桜、エンドウマメは収穫しています。小菅ではエンドウもコムギもやっと伸び始めました。土筆はほうけ、蕨はたくさん出てきています。ジャガイモ、キャベツ、カリフラワー、ブロッコリーを植え、ニンジン、ダイコン、ゴボウを播きました。畑の持ち主の媼 80 歳は冬にはもう疲れた、もう畑は止めどとか、弱音を吐いておいででしたが、春になった途端、生き生きとシャンとなって後 2 年はやるとニコニコおっしゃっています。当分、蕨の採集で、パートの方の収入よりも多いよとご自慢です。自然に囲まれた山畑のありがたい恵みです。野生獣は蕨を食べません。

日本村塾ゼミで、自然のなかでの暮らしや生業について皆様と一緒にもっと学び、山村に暮らす楽しみ、人々の幸せや誇りについて語り合いたいです。都市民はもっと自然に親しまないと、人間でないもの AI の下僕になってしまいます。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。友の会会員になっていただければうれしいです。また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけるとありがたいです。

## ○報告

### 1. 植物と人々の博物館

購入書架に書籍を並べ、テーブルとイスも用意し、よい空間になってきました。雑穀の展示は再開しました。源流祭 5 月 4 日に向けて展示「多様な生業」を企画していますので、民具整理や展示準備、データ整理などご協力ください。狩猟・漁撈は黒澤ら担当、採集・農耕（海外調査の道具など含む）は木俣が担当します。また、自然文化誌研究会らしさを出したいので、冒険探検関係の資料・用具などがありましたら、展示にお貸しください。

### 2. 雑穀街道と FAO 世界農業遺産（第 40 回環境学習セミナー）

日時：2018 年 4 月 9 日（月） 場所：山梨県上野原市 市役所展示室 3

主催：NPO 自然文化誌研究会／雑穀街道普及会 共催：農業法人藤野倶楽部、NPO さいはら、ほか

相模原市、上野原市、小菅村、丹波山村ほかから、農家、農業委員、役場職員、NPO 団体、地域住民など 32 名が参加してくださいました。お忙しい中、丹波山村長もお越しく下さいました。

内容：雑穀など来作物品種の大切さと継承、雑穀街道における家族農業、自給農耕、市民農園、ファーマーズマーケットの楽しみなどを話題に、雑穀街道協議会創立準備、FAO 世界農業遺産に認定申請について話し合いました。

#### プログラム

12:00～13:00 受け付け、雑穀街道普及会 地域活動の展示紹介

13:00～14:00 1. 雑穀街道の提案趣旨 木俣美樹男（農山漁村文化協会理事、東京学芸大学名誉教授）

14:00～15:00 2. 各地域からの報告

1) 小菅村・丹波山村から 黒澤友彦（NPO 自然文化誌研究会事務局長、雑穀栽培講習会）、岡部良雄（雑穀栽培農家）

2) 上野原市西原から 富澤太郎（上野原市農業委員、やまはた農園）、中川智（雑穀栽培農家）

3) 相模原市緑区藤野から 宮本透（宮本茶園、雑穀栽培農家）

15:00～15:15 休憩

15:15～16:30 3. 総合討論とまとめ 藤村達人（相模原市農業委員、筑波大学名誉教授）

FAO 世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。FAO 世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いします。下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」（小菅村井狩）で閲覧していただけます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』序章で雑穀の栽培史、第 4 章で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/milletn/jnmpilvil.html>

### 3. 森とむらの図書室

長浜功 2018、孤高の佳人士岐善麿、社会評論社、東京。著者長浜先生より寄贈されました。

九州、沖縄関係、ブータン・ネパール関係の図書を整理しています。

## ○予定

1. 開館作業予定日：2018 年 4 月 5 日（木）、13 日（金）、20 日（金）、27 日（金）、5 月 4 日（祝）の予定です。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示を再開しています。作業にご協力いただきたく、よろしくお願ひします。ご協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、日程調整します。

[kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

## 2. 源流祭に合わせて、恒例の公開展示解説をします。

日時：5月4日（金・祝）、9時から14時まで。お待ちしております。

場所：植物と人々の博物館、今年からは中央公民館ではありません。

山梨県小菅村の井狩バス停そばですが、小菅の湯や道の駅こすげからも歩いて数分です。

交通：電車・バスでお越しになることをお勧めします。JR 青梅線奥多摩駅、JR 中央線野原駅および猿橋駅が大月駅からバスがあります。自家用車の場合、源流祭りのため混雑しますから、道の駅こすげ近くの臨時駐車場などに誘導されると思います。

3. 「憲法に環境原則を追加する提案」についての研究会を認定 NPO 法人環境文明 21（憲法部会）で行っています。次回は2018年5月10日（火）18-20pm、場所未定。ご興味があれば詳細をお知らせします。現在の提案書（憲法前文と第三章環境を加筆）は次のホームページで読めます。

<http://www.kanbun.org/2017/170824teigen/170824teigen.html>

4. 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。都市農業や家族農業の図書文献は森とむらの図書室（小菅および藤野分室）で閲覧できます。講演や研究報告はホームページで読めます。

5. 民族植物学第11号は編集中です。第12号の原稿締め切りは2018年7月とします。関東地方の雑穀栽培、アニミズム信仰論など準備しますが、ご寄稿を歓迎します。バックナンバーは第7号～第10号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第10号まで、すべての記事はホームページで読めます。

6. 藤野での雑穀栽培講習会は駅前の畑を藤野倶楽部のご厚意でお借りして、継続します。

7. 講演会：7月22日（日）午後1時～3時、話題：こんな食物もアフリカからやってきた。JICA 地球広場市ヶ谷。

8. 学大小菅実習：6月予定。

9. 環境教育学会エクスカーション（予定）8月末。小菅村、内容未定。

10. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、パキスタンおよびインド各州について、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。同じく、『日本雑穀のむら』は序章雑穀との出会いを新たに公開しました。『環境学習原論』および『第四紀植物』、“Essence of Ethobotany” はまだ非公開ですが、書き進めています。これらは、下記の個人ホームページで読めます。引用してくださる場合は、順次必要に応じて改訂してまいりますので、「木俣（2018 未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

\*\*\*\*\*

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

個人 HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

\*\*\*\*\*

## 写真



**この畑の左手下の街道筋の小菅村井狩集落に、  
植物と人々の博物館があります。**